

新ストレスチェックサービスのご案内

多くの事業者様がストレスチェックを「職業性ストレス簡易調査票57項目版」で実施されておりますが、健康経営の機運の高まりのなかで、ストレスチェックから得られる情報を充実させたいというお声がございます。そのようなニーズにお応えして、従業員が自身のストレス対処源を認識できる【65項目版】、組織の健康度をより把握するための【80項目版】の調査票をご提供させていただきます。

人生100年時代の働き方、多様性の受容と両立支援、ワークライフバランス等々、各事業者様が独自の強みを活かした健康経営実現への評価指標としてご利用されてはいかがでしょうか。

【65項目】：個人のストレスマネジメントに役立つ

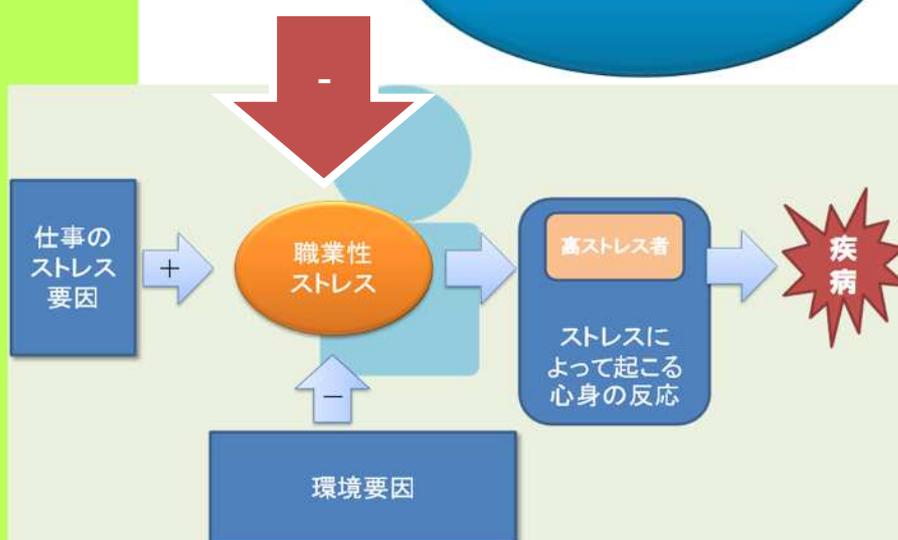
職業性ストレス簡易調査票57項目版は、仕事におけるストレス発生の原因となる「仕事のストレス要因」(仕事の量・質、対人関係・・・)とストレスを緩和する「環境要因」(上司、同僚、家族・友人の支援)の影響を受けて、個人の心身に「ストレス反応」が生じるストレス発生モデルに基づいて測定しています。(下記概念図をご参照ください)

しかし「ストレス反応」は、外部からの影響を受けるだけではなく、個人ごとにストレス要因の受け止め方が異なっていたり、ストレスへの対処能力・スキルといった「個人要因」からも影響を受けています。

新ストレスチェックサービス(65項目版)は、ストレス対処に有効なストレス耐性や困難を乗り越える回復力の「個人要因」を測定し、個人が現在のストレス状態を知るだけでなく、ストレスをマネジメントする能動的なストレス対処の情報を得ることができます。

ストレス対処に有効な
個人要因を追加

ストレス耐性
ストレス回復力



職業性ストレス簡易調査票57項目のストレス概念図

